

令和5年度 第1回 中央区地域公共交通検討会議 会議概要	
開催日時	令和6年3月15日（金）※書面開催
会場	—
出席者	中央区自治協議会 選出委員 新潟島に循環バスを走らせる会 国土交通省北陸信越運輸局新潟運輸支局 新潟交通株式会社 新潟交通観光バス株式会社 新潟警察署 新潟中央警察署 新潟市ハイヤータクシー協会 新潟市都市政策部都市交通政策課 中央区建設課 中央区地域課
事務局	中央区地域課
議 事	<p>1 報告事項</p> <p>(1) 生活交通改善プラン（後期計画）の策定について</p> <p>現行の生活交通改善プランの計画期間がR6.3で終了することから、新プランとなる生活交通改善プラン（後期計画）の策定が必要となるが、策定については下記のとおり対応する旨、事務局より報告がありました。</p> <p>① 現行プランの計画期間をR7.3まで延長し、R6年度に後期計画を策定する。</p> <p>② R6年度に実施する事業内容は、R7年度からの後期計画を見据え、R5年度の事業をベースに決定する。</p> <p>理由：上位計画である「にいがた都市交通戦略プラン（後期）実施計画」、および「新潟市地域公共交通網形成計画」の改定は、昨年度末より、新型コロナウイルスによる影響を考慮するための調査、およびその結果を計画へ反映させるべく作業を進めていたが、新潟交通株式会社との新たな連携協定の締結に関する協議の進捗により、同連携協定の内容を計画内に位置付ける必要が新たに生じたことから、改定作業に通常以上の期間を要している。後期計画を上位計画に即した効果的な計画とし、検討する時間を十分に確保するため、前期計画の期間を延長する。</p>

(2) 生活交通改善プランの一部改定について

現行プランの延長に伴い、事務局が作成した一部改定版（案）について、書面にて意見聴取を行いました。

○来年度のプランの策定について以下のような意見がありました。

- ・ 駅南北直通バスが少なすぎるため、萬代橋ラインと S 系統を一体化し、青山方面から駅に着いたバスは S5、S6、S7 方面へと直通させるべき。
- ・ 駅南からのバスの多くが万代シティ止まりでは古町が益々斜陽化してしまう。直通すべき。
- ・ バスの 1 日乗車券を通年設定とし、回遊性向上を図るべき。
- ・ 現在のエコ通勤の取組では不足。社員でまとめて通勤定期を購入する企業に対し、割引率をアップした「企業定期券」を発売し、差額は市が負担することで「通年かつ大規模」なエコの取組を加速させるべき。
- ・ MaaS の取組について、過去 2 回のトライアルを検証した上で、JR、路線バス、区バス、住民バス、水上交通、自転車等を包括した仕組みの構築を目指すべき。
- ・ 各交通事業者と市が連携し、公共交通利用促進イベントを進化させてほしい。
- ・ 新潟駅のリニューアルにあわせて、運賃引き下げや割安な 1 日乗車券の発行など、思い切った企画で転換期を図ってはどうか。
- ・ 「オンデマンドバス」をうまく活用し、アクセスが向上するような取り組みを行うべき。
- ・ 公共交通だけでなく、街の発展も考えてプランの策定をするべき。